

## ボリビアで大水害発生！

少々時を遡りますが、今年2月にボリビアで、大規模水害が発生しました。その後、コロナ禍でこの水害のニュースは埋もれてしまいましたが、ホームページに載せた情報をこちらでもご紹介いたします。

**昭子さんより第一報：2月21日午前9時58分**  
 コロナウイルスが日本でも増えているようですね。皆さん気をつけてください。皆で心配して祈っています。ここ私たちの家のそばの川の上流で、また土砂崩れが2度もありましたが、前の経験でかなりの防御設備をしていましたので、被害はずっと少なく済みましたが、まだ毎日雨が降っていますので安心はできません。みんな真剣に心配して毎日祈っています。

**昭子さんより第二報：2月22日午前0時12分**  
 今日2月21日午後6時半ころ、また山が崩れ、深さ5メートル、幅10メートル以上もある川が、また大きな石と土砂に埋め尽くされ、はみ出した土砂がまた私たちの前の道と、その次の道を川のように流れています。私たちの前の道は直径50cm以上もある、大きな石で埋め尽くされています。皆2階に避難しています。まだ雨が降っていますので油断できません。今夜中の12時ですが、シヨベルカーなどの仕事をしている音が聞こえています。皆の無事をお祈りください。

### CAPEDISを支援してくださる皆さま方へ

今年は年の初めから、日本もコロナ禍が未だ多方面に猛威を振るっている状態です。そんな中で、聖マルティンの家のことをいつもと変わらず心にかかけ、ご支援いただきますこと、本当に頭の下がる思いであります。感謝申し上げます。早く皆様の生活が平穏を取り戻します様にお祈り申し上げます。  
 エルピス会一同

### コロナに世界が揺れている今、皆様、いかがお過ごしですか？

コロナ！コロナ！・・・と、世界中がコロナウイルスに振り回されている昨今・・・こんな時にも世界の貧富の格差は歴然とそこにあり、私たちは今、何を問われているのだろうと、つつい考えてしまいます。

今回も、電話やメールを通して入手したボリビアの様子をお伝えします。

ボリビアでもコロナウイルスの猛威は衰えることなく、道路はあちこちでボリビア式に封鎖（※）され、基本、罰則の大きな外出禁止令が敷かれており、人も車も出歩いてはいけない状態です。

昭子さんは一日に一度だけ外出許可を得ており、その時に職員を一人だけ送迎します。「聖マルティンの家」へ来たら24時間働いてもらい、次の日にまた次の人へ交代するという日々だそうです。そんな中で、「聖マルティンの家」のみんなは、ますますお互いが助け合いながら祈りのうちに生活しているのだそうです。買い物は、トラックの移動販売が来た時に済ませます。

嬉しいことに「こんな時だから、大丈夫？」と、飲み物やマカロニなどの寄付もあり、大変有難く「守られている！」と喜んでいました。

畑の方はドン・エミリオさん（一昨年ローナル君の介助で来日）の家が、幸い、畑から100mほどしか離れておらず、動物の世話なども併せてしてもらえます。残念なことですが、野菜は売りにも行けず、たくさん捨てたそうです。

昭子さんは、みんなが心配する中、夜、闇に紛れて1時間ほど歩いて畑に行き、背負えるだけの荷物を背負ってこっそり持って帰るそうです。「まるでドロボーみたいよ」と笑っていました。

政情不安から水害、そしてコロナウイルスと、困難は続きますが、「聖マルティンの家」のみんなが元気に過ごせているのは救いです。

感謝を込めて・・・  
 エルピス会  
 俵 靖子

※ボリビア式封鎖： ダンプカーいっぱい砂利を積んできて道路の真ん中にドサツとおろして山を作り、物理的に通られなくする